

# V. 市街地排水浄化対策事業

## 1. 事業の歩み

下水道の整備や排水規制等の発生源対策を中心とした水質保全の取り組みだけではなく、土地系の水質保全対策として市街地排水浄化対策事業を実施しています。平成9年10月に策定された琵琶湖水質保全対策行動計画の中で、赤野井湾地域約220ha、中間水路地域110haの市街地排水浄化対策事業を実施することとされ、山寺川流域で事業が具体化されました。

## 2. 山寺川流域（草津地区）市街地排水浄化対策事業

平成10年度より、草津市において県内で初めての市街地排水対策事業に着手し、平成15年9月1日に供用開始しました。その概要は以下のとおりです。

主体	名称	事業認可	集水面積	施設の概要
滋賀県・草津市	市街地排水浄化対策事業 (草津・山寺川流域)	H12.3.24	80ha	導水渠、沈砂池、貯留兼沈殿池、 接触酸化槽、植生浄化など

施設の完成にあたり、地域住民の方に愛着をもってもらうため、愛称を募集し、「伯母川ビオ・パーク」と名づけられました。

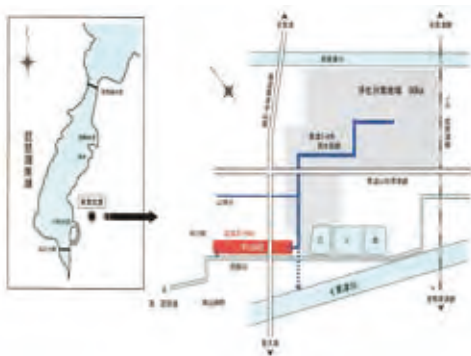
浄化施設に植えられている植物の管理と栽培は、地域のボランティア（伯母川ビオ・パーク運営協議会）のみなさんの力で育てていただいています。

### 第13回国土交通大臣賞「いきいき下水道賞」水環境創出部門受賞（H16）



▲表彰写真

▼施設風景





### 事業の目的

市街地の排水や雑排水は、排水処理施設で処理された水は河川に流され、これを市街地排水として、配管網に運ばれ、浄化槽の汚濁物質の一部を削減する。この事業では、国産の山形川流域から採出する市街地排水の一部を削減することによって、汚濁物質削減率を向上させ、さらに上流排水は浄化槽などを利用して浄化することにより、河川へ流入する汚濁物質(COD、窒素、リンなど)を削減できます。

### 排水を貯めて処理します。

#### 防範沈降施設

市街地排水を貯めて、砂や砂子の大きな汚れを沈降分離します。上流排水は、浄化槽施設などで多量に、既に処理した水は、現場下水処理場に入れて、浄化センターで処理します。



### 排水を浄化施設に取り入れます

#### 取水施設

前処理された市街地排水のうち、特に汚れている初期の排水を浄化施設に取り入れます。大きなゴミは前処理で取り除きます。



## 市街地排水浄化対策事業

自然の力とみんなの力で美しい柏田川と昆島湖を再現します。

### 微生物の働きで水をきれいになります。

#### 接触酸化施設

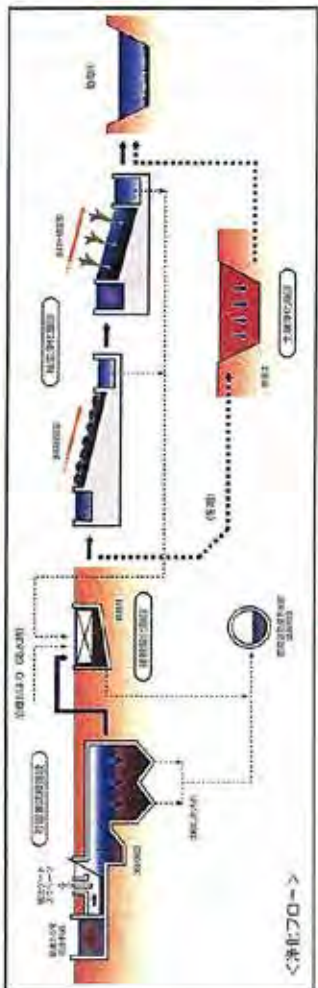
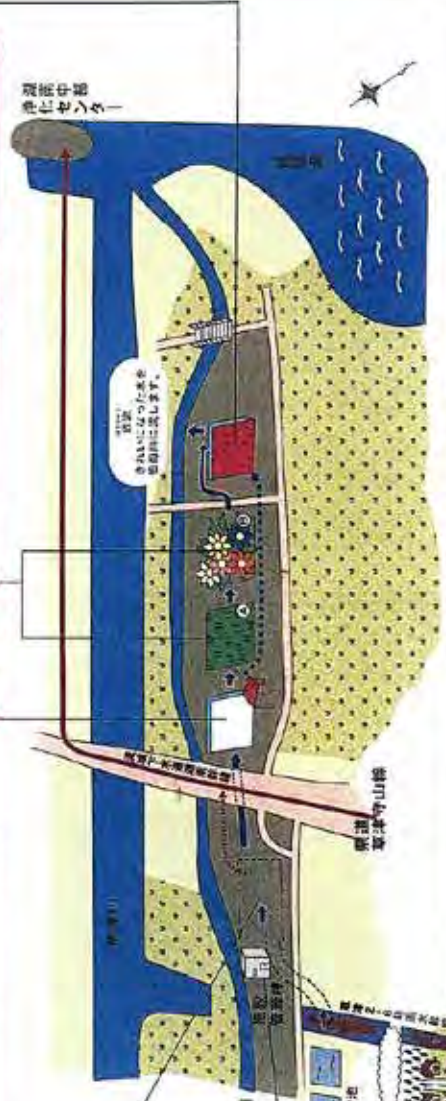
上流排水は、接触酸化施設(フラスコタイプの反応槽)の入った水塔内に流すことで、水中に付着している微生物により分解されてきれいになります。



### 植物の働きで水をきれいになります。

#### 水生浄化施設

日本中のきれいな自然環境を再現し、また、草花(ゼオライトという石)の周りに付着している微生物により分解されてきれいになります。



### 土中の微生物の働きで水をきれいになります。

#### 土壌浄化施設

排水を土(保土土)の中に流すことで、流れが土の中の微生物により分解されてきれいになります。



### 植物の管理と栽培



浄化施設に植えられている植物は、地域のボランティアのみなさん(柏田川ピオ・パーク運営協議会)の力で育てていただいています。

### 環境学習



さまざまな浄化施設を通して、市街地排水が浄化される仕組みを学ぶなど、環境学習に努めています。

